

## 安全データシート (SDS)

### 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ タッピングスプレー ステン加工名人  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
緊急連絡先 所在地と同じ  
整理番号 M170407

作成日 2017/04/07

### 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール 区分1

##### 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷、刺激 区分2A

吸引力呼吸器有害性 区分1

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略。

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語 危険

##### 危険有害性情報

可燃性・引火性が高いエアゾール

重篤な眼への刺激性

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

#### 注意書き

応急措置 p. 2 に記載

取り扱い p. 2 に記載

保管 p. 2 に記載

廃棄 p. 3 に記載

#### 物質の特定

単一製品・混合物の区別	混合物
製品の種類	不水溶性切削油剤
成分	鉱油、添加剤(塩素化合物含む)、噴射剤(LPG)
CAS No.	企業秘密のため非公表
国連番号及び国連分類	1950、クラス 2.1
労働安全衛生法	通知対象物：鉱油(30～40%)、ブタン(噴射剤)
消防法	第4類第3石油類 危険等級Ⅲ
P R T R	非該当

---

## 応急措置

目に入った場合	直ちに清浄な水で十分、洗浄する。まぶたの裏まで完全に洗浄後、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水及び石けんを使用して、十分洗い落とす。必要であれば医師の診断を受ける。
吸入した場合	大量に吸い込んだ場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移して安静にする。直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	安静にして直ちに医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合、水道水で十分ゆすぐ。

---

## 火災時の措置

消火方法	適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 可燃物を周囲から速やかに取り除く。 高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。 高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は十分に距離を取る。
消火剤	炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂 棒状の水は火災拡大を引き起こす恐れがあるため、使用しない。

---

## 漏出時の措置

- 適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。
- 付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。
- 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- 乾燥砂、土、ウエス等に吸着させて回収する。
- 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。  
その際、土壌、河川、湖沼、海、下水道等に排出されないように注意する。

---

## 取り扱い及び保管上の注意

関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。

取り扱い	製品の使用中、飲食および喫煙しない。 炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、吸入、接触しないよう必要に応じて保護具を着用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。 使用中も水分、異物が混入しないよう、できるだけ密閉する。
保管	屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 水分、異物が混入しないよう、必ず密閉する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

---

## 暴露防止措置

### 管理濃度及び許容濃度

	鉍油(鉍油ミストとして)
管理濃度(2012年度)	規定なし
許容濃度 日本産業衛生学会(2014年度)	3mg/m <sup>3</sup>
ACGIH(2011年度)	TLV-TWA 5mg/m <sup>3</sup>

- |      |  |
|------|--|
| 設備対策 | <ol style="list-style-type: none"><li>局所排気装置をつけて、ミストが滞留しないようにする。</li><li>取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。</li><li>屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。</li><li>取り扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明確に表示する。</li></ol> |
|------|--|

保護具	呼吸系の保護具 目の保護具 皮膚・身体の保護具 その他の注意事項	スプレーを行う場合は、適切な保護マスクを着用する。 保護眼鏡を着用する。 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の保護手袋、保護着を着用する。 着衣が内容物で濡れた場合は、直ちに着替える。 濡れた着衣は洗濯してから着る。
-----	---	--

#### 物理/化学的性質

原液	外観等 揮発性 密度 引火点 発火点 爆発限界 溶解性	淡黄色透明液体、臭気は少しあり なし 0.92g/cm <sup>3</sup> (15°C) 180°C データなし 1~7vol% 水に不溶
噴射剤	外観 臭気 沸点範囲 蒸気密度 融点 密度 蒸気圧	無色透明液体 無臭 -42.1~-0.5°C 1.9~2.5kg/m <sup>3</sup> (1atm15.6°C) -187.8~138.4°C 0.543g/cm <sup>3</sup> 1.3~0.3MPa (40°C)

#### 危険性情報

反応性	特になし。
安定性	安定
その他	燃焼等により有害ガス発生する。不完全燃焼した場合、一酸化炭素を発生することがある。

#### 有害性情報

急性毒性	経口 LD <sub>50</sub> >5000mg/kg(ラット 推定値) 経皮 ラット 有用なデータなし 吸入(ミスト) 有用なデータなし
皮膚腐食性/刺激性	眼に入ると炎症を起こすことがある。
発がん性	使用している基油は高度精製油であり、IARC ではグループ3に分類 (人に対して発がん性について分類できない)
慢性毒性	有用なデータなし
感作性	有用なデータなし
変異原性	有用なデータなし
催奇形性	有用なデータなし
生殖毒性	有用なデータなし

#### 環境影響情報

漏洩時及び廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。 土壌、河川、湖沼、海、下水道等に直接流れないように注意する。
---

#### 廃棄上の注意

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適正に処理する。 燃焼すると有害な塩素系ガスが発生するため、知事の許可を受けた産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。
---

---

#### 輸送上の注意

- 共通 取り扱い及び保管上の注意の項に従う。  
容器に漏れの無いことを確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。  
運搬に際しては容器を 40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。
- 陸上運送 消防法、労安法の定めるところに従う。
- 海上運送 船舶安全法の定めるところに従う。
- 航空輸送 エアゾール製品の場合、航空法では輸送できないものになっており注意する。
- 

#### 適用法令

- |         |  |
|---------|--|
| 消防法     | 第4類第3石油類 危険等級Ⅲ                         |
| 船舶安全法   | 危険物（高压ガス）                              |
| 航空法     | 一般に使用されているエアゾール製品は航空法では輸送できない。         |
| 労働安全衛生法 | 施行令 危険物（引火性のもの、可燃性のガス）<br>通知対象物 鉱油、ブタン |
- 

#### 参考文献

1. 製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会）
  2. GHS 対応による混合物（化学物質）の作成手法の研修テキスト（改訂版）（中央労働災害防止協会）
  3. 各原料の SDS
- 

#### 注意事項

- 安全データシート(SDS)は通常の取り扱いを想定して作成したものです。  
SDS は安全の保証を約束するものではありません。  
取扱者は状況に応じた処理を行ってください。  
SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。